

ごあいさつ

大分市子どもすこやか部
部長 高橋 賢次

大分市社会福祉協議会保育部会の皆様におかれましては、日頃から、一人ひとりのこどもの最善の利益を第一に、保育を通して児童福祉の増進にご尽力を賜っておりますことに、心から感謝と敬意を表します。



さて、国におきまして、令和5年12月に「こども未来戦略」が閣議決定され、保育士等の配置基準の改善及びそれに伴う加算措置や、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設などが盛り込まれました。

保育士等の配置基準の改善につきましては、本市におきましても、国の基準改正に合わせて条例改正を行うとともに、保育士の確保支援策として、「保育のしごとセミナー」や、「職場体験講習会」の開催など、今後も保育士確保に向けた取り組みを進めてまいります。

「こども誰でも通園制度（仮称）」につきましては、令和8年度から全国でスタートする方針となっておりますが、本市では制度の対象年齢と重なる1、2歳児の保育ニーズが高く、未入所児童が多いことや、児童の受入れ体制、保育士確保など、様々な課題がございます。引き続き、国からの情報収集や他都市の試行的事業の状況把握を行うとともに、受け皿となる施設への意向調査等も踏まえ、実施に向けた検討を行ってまいります。

また、昨今、幼児教育・保育現場での痛ましい事件や不適切な対応事案が発生しています。本市では、巡回支援にあたる職員を配置し、保育内容や安全管理に関する助言や指導を行うとともに、経験・職務内容に合わせた各種研修を通じて、保育士等のスキルアップやキャリアアップを支援し、保育の質の向上と人材育成に努めているところです。

今後とも、保育部会の皆様と手を携え、子育てしやすい保育環境の充実に向け取り組んでまいります。引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大分市社会福祉協議会保育部会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

道の駅たのうららに行ってきました!

令和6年7月7日（日）にオープンした道の駅たのうららに行ってきました。インフォメーションカウンターのあるエントランスを入ると右手には実際に別大国道を走行していた路面電車が迎えてくれました。乗車することができ、運転席に立つと運転士の気分が味わえます。車内の座席と手すりはいリニューアルされ、以前の雰囲気を感じることができます。

稀に建物の外に出ていることがあるそうで、見られたらラッキーですね。

通路を抜けると地元食材を中心とした生鮮食品やお弁当など、道の駅らしい親しみやすい雰囲気で、イートスペースや休憩スペースがたくさんありました。手ぶらで訪れても不便がなさそうでした。

さて、いよいよ気になっていた2階へ……！ 階段を上がっていくと段々と木の素敵な香りがひろがってきました。2階にたどり着くとフードコートとキッズスペース、おとの聴こえる広場がありました。



キッズスペースには、木製のすべり台と木の玉プールが備えてありました。木の玉プールの中には木製の卵型の玉がたくさんあり、いつまでも遊べそうです。

キッズスペースのそばにはトイレもあり、緊急時には間に合いそうです。トイレの隣には授乳室も完備され、個室が3つ並んでいました。浄水されたお湯もあり、便利そうです。

さらに奥へ進み、おとの聴こえる広場に入りました。手前には絵本の棚があり、中央には、誰でも弾けるグランドピアノが設置されていました。誰か弾いてくれる人がいれば素敵な雰囲気の中で絵本が読めそうです。

2階の展望デッキに出ると目の前には別府湾が見渡せ、別大国道を通る沢山の種類の車を見ることができます。山手側には電車も通り、一年を通して楽しめます。展望デッキは屋根もついているので雨や雪の日のお出かけの選択肢の一つに入れてみてはいかがでしょうか。



最後に、お店によっては開店時間と閉店時間が違うので詳しくは道の駅たのうららのホームページをご覧ください。

あごがき

保育おおいだ第71号はいかがでしたか？今回は以前から気になっていた“道の駅たのうらら”へ取材に行ってきました。まず驚いたのが、トイレの多さ！あまりの綺麗さとリゾート地のような空間に、道の駅ということをおぼえてしまっていた私です！（そうですね、道の駅ですもんね笑）そして、産直野菜や美味しそうなスイーツなど、目移りしてしまうほどの種類の多さに驚き、仕事を忘れうっかり時間が経っていました！この場を借りて、取材に協力して下さいました皆様にお礼を申し上げます。今後も楽しい広報誌をお届けしていきますので、お楽しみに。（〇）